

# 戦 評

大会名	令和5年度 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 岩手県予選会
-----	---------------------------------------

男子決勝

会場； 渋民運動公園総合体育館

主審； 及川 晃弘

副審； 澤田 力

岡崎建設Owls **2**  $\left\{ \begin{array}{l} 25 - 21 \\ 25 - 20 \end{array} \right\}$  **0** 盛岡南

試合時間 0 時間 45 分

## 戦 評

2年連続、同一の対戦カードとなった男子決勝。第1セット、両チーム譲らず13-13と一進一退の展開が続く。岡崎建設Owls（Owls）は、17番（西村）のサーブで連続得点を重ねリードに成功する。対する盛岡南（盛南）はセッター2番（石ヶ森）の巧みなトス回しで多彩な攻撃を展開し、10番（菅田）のサイド攻撃などで粘り強く応戦するがOwlsが23-21と先取する。

第2セット、後がない盛南は10番（菅田）、18番（竹花）のサイド攻撃で13-11とリードする。Owlsは17番（西村）のブロックを機に3連続得点し、15-13と逆転に成功する。終盤は5番（石川）、9番（似内）のスパイク、14番（黒澤）のブロックでセットを連取し、Owlsが2年連続9回目の優勝を決めた。

※7～10行にまとめること

戦評者 多田 直樹

岩手県バレーボール協会

# 戦 評

大会名	令和5年度 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 岩手県予選会
-----	---------------------------------------

女子決勝

会場； 渋民運動公園総合体育館

主審； 新沼 美穂

副審； 手島 瑞夫

高田 2 { 25 - 20  
25 - 23 } 0 花巻南

試合時間 0 時間 52 分

## 戦 評

ともに初優勝を狙う花巻南と高田の高校対決となった決勝。第1セット、高田は中盤まで3番（佐藤）、4番（渡辺）のセンター攻撃で効果的に得点を重ねる。対する花巻南は、3番（佐々木）、4番（藤館）が高さを生かして反撃するが、高田は1番（遠藤）、12番（荒井）のサイド攻撃でセットを先取する。

第2セット序盤、花巻南は3番（佐々木）のブロック、バックアタック9番（山本）のスパイクで得点を重ねる。高田は、第1セットに続きサイドを軸に攻撃を展開し、最後は1番（遠藤）のスパイクが決まり念願の初優勝を飾った。

※7～10行にまとめること

戦評者 高橋 正泰

岩手県バレーボール協会